

交通事故発生状況（令和6年11月末現在）

1 交通事故発生状況

(1) 全国及び管内各県の死者数

区分	令和6年	令和5年	増減数	増減率
全国	2,376	2,378	-2	-0.1%
管区計	291	307	-16	-5.2%
富山	20	27	-7	-25.9%
石川	26	25	+1	+4.0%
福井	22	17	+5	+29.4%
岐阜	58	48	+10	+20.8%
愛知	126	134	-8	-6.0%
三重	39	56	-17	-30.4%

(2) 県下の交通事故発生状況

区分	人身件数	死者数	負傷者数	
			負傷者数	重傷者数
令和6年	2,569	58	3,170	316
令和5年	2,798	48	3,466	383
増減数	-229	+10	-296	-67
増減率	-8.2%	+20.8%	-8.5%	-17.5%

(3) 月別死者数

区分	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
令和6年	6	6	3	1	4	8	3	6	6	5	10	-
令和5年	2	2	1	8	1	5	6	3	6	11	3	2
増減数	+4	+4	+2	-7	+3	+3	-3	+3	0	-6	+7	-

(4) ブロック別死者数

区分	岐阜	西濃	中濃	東濃	飛驒	高速隊
令和6年	17	11	9	9	7	5
令和5年	16	10	11	1	7	3
増減数	+1	+1	-2	+8	0	+2

(5) 年齢層別死者数

区分	子ども	高校生	若年者	25～59歳	60～64歳	高齢者
令和6年	1	0	0	17	5	35
令和5年	0	0	2	8	1	37
増減数	+1	0	-2	+9	+4	-2

2 死亡事故(55件、58人)の特徴

今年の死亡事故は55件58人発生し、前年同期より10件10人増加している。全国での岐阜県の位置(ワースト順位)は、死者数13位、増減数8位、増減率10位。また、人口10万人当たりの死者数は3.00人、全国ワースト9位。(全国平均:1.91人)

(1) 高齢者の死者が約6割

高齢者の死者が35人で、前年同期より2人減少しているものの、全死者(58人)の60.3%を占め、このうち歩行中が16人と多く、いずれも75歳以上であった。

(2) 自動車乗車中の死者が4割強 うちシートベルト非着用者の死者が半数近くを占める

自動車乗車中の死者が24人で、前年同期より1人増加し、全死者の41.4%を占め、このうちシートベルト非着用者が11人と自動車乗車中死者の45.8%を占め、9人が着用していれば死亡には至らなかったと思われる。

(3) 交差点での事故が増加

交差点での事故が24件で、前年同期より9件増加し、全事故(55件)の43.6%を占め、このうち信号の無い交差点での事故が21件で、特に車対歩行者の事故が13件と多い。

(4) 夜間の事故が増加

夜間の事故が28件で、前年同期より11件増加し、全事故の50.9%を占め、特に車対歩行者の事故が15件と多い。

(5) 歩行者の死者が3割強

歩行者の死者が19人で、前年同期より5人増加し、全死者の32.8%を占め、このうち道路横断中の死者が17人(うち横断歩道横断中3人)と多い。

(6) 50～64歳の運転者による事故21件[前年同期比+15件]

(7) 40～64歳の死者17人[前年同期比+12人]うち自動車乗車中13人[前年同期比+10人]

(8) 自動二輪乗車中の死者8人[前年同期比+7人]

《その他》

○ 高齢運転者事故が13件で全運転者事故(51件)の25.5% [前年:19件・46.3%]

○ 若年運転者事故が3件で全運転者事故の5.9% [前年:5件・12.2%]

○ 飲酒関係事故が3件で全事故の5.5% [前年:0件]

注:若年は24歳以下、高齢は65歳以上をいう。

夜間は日没から日の出までをいう。

運転者事故は原付以上運転者が第1当事者(主たる原因)となった事故をいう。

飲酒関係事故は原付以上の第1当事者が飲酒状態による事故で検知不能を含む。

3 「30日死者」(24時間を経過し30日以内に死亡した者)

30日死者は7人で、前年同期より3人増加している。 ※ 11月末で死亡を確認したもの。

【過去10年間の死者数推移】

年別	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6
11月末	81	91	81	73	78	75	37	55	67	48	58
年間	93	106	90	75	91	84	43	61	75	50	...